

【症例】Y君 D小学校、支援級在籍 5年生

【主訴】ずっと話している。静かにしてほしいとお願いするが静かにできない。学習面を伸ばしたい。

【WISC-III】3年生時 FIQ：68、VIQ:70、PIQ:73

【学校での様子】会議より

- ・国語、算数は支援学級で行っている。漢字は2年生後半ぐらいまでは定着しているが、繰り返しが必要。算数は少数まで。実生活にはつながりにくい。
- ・友人との関係は良好だが、授業中に周りをキョロキョロしたりしている。フォーマルな場での行動は難しい。

【家での様子】

- ・家では自分の部屋を持ちお気に入りの場所を作っている。(クールダウンの場)
- ・友達の家にもいつでも行っていたが約束ができるようになった。
- ・ご飯の時にしゃべり続けてしまう。(周囲の反応が面白かったり)

【最近の療育での様子】

- ・好きな話題や気になる話題は自分から話す事がある。独り言のように話すことが多い。振り返りシートを使うとそれから気持ちとエピソードを繋げることもある。
- ・体を動かす事は好きだが、クールダウンまでに時間がかかる。時々、「見てみて」と注意喚起する時もある。
- ・他児が居る場所へは入りたがらない。他のスタッフからへの声掛けも入りにくい。(注目も向きにくい)
- ・活動の切り替えには時間がかかる。(終了)
- ・要求は少なく、自分で動いていることが多い。

【まとめ】

- ・話す機会を作っていく。➡ワークシートの活用
- ・学習の段階の確認 ➡ 学習への支援…話す力や聞く力、理解する力を療育の中で育てる。